

平成26年度事業計画書

養護老人ホーム 大慈吉祥園

1. ≪平成26年度法人ヴィジョン≫

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. ≪基本方針≫

法人の基本方針である「和顔愛語」「上敬下愛」に基づき、ゲストが施設の中で人間として尊厳を保ち、健やかで快適かつ生きがいのある生活が営めるように努める。措置施設として社会的役割を果たせるように努める。

3. ≪長期目標≫

ゲストが年齢を重ね、どのような状態になっても、この終の棲家で「自分らしく」1人の人間としての誇りをもって生活できるような環境をつくる。

<施設年度目標>

①レジェンド（伝説）ケース6件

- A) 人生5Sを推進していく
- B) QOLの向上を図る
- C) チーム力の強化を図る

★養護老人ホームにおいては、特定施設対象者だけでなく、要支援、自立されているゲストに対しても、出来る限り「個別」の推進に向けて取り組む。特に重度化を防ぐために、介護予防や自立支援のための体制を整えていく。措置施設として一人一人の生活の営み全てに関わりを持ち、心身共に健康で心豊かに生活出来るように支援していく。

- ・措置施設としての個別の処遇計画
- ・脳機能回復を目指す（趣味活動の場を設ける、園芸療法、学習療法の枠を広げる）

★大慈吉祥園利用者数（定員70名）（女性49名、男性21名） H26年1月末現在

年 性	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～ 104	合計
女	0	0	5	9	13	14	7	1	49名
男	1	6	3	4	5	0	2	0	21名
合計	1	6	8	13	18	14	9	1	70名

最高年齢	103歳	最少年齢男	69歳	女	75歳	平均年齢	86歳	3か月
------	------	-------	-----	---	-----	------	-----	-----

★要介護度状況

H26年1月末現在

項目	男	女	計
その他（非該当）	2	7	9
要支援1	1	0	1
要支援2	1	3	4
要介護度1	8	15	23
要介護度2	4	11	15
要介護度3	5	2	7
要介護度4	0	7	7
要介護度5	0	4	4
合計	21名	49名	70名

4. <<栄養科>>

<目標>

①食事面から身体的自立を支援する

- A) 食事形態アセスメントシートを活用し、他職種で評価決定し情報を共有する。
- B) 食事形態アセスメントシートの項目を見直し、更新する。
- D) 目標を共有し、担当職員から情報発信できる環境を作る。

②食生活の質を向上

A) 各フロアと厨房の調整

- ・情報収集と他職種との意見交換を行う。
- ・各部署の食事部門と情報を共有する。

B) ゲストの嗜好にあった食事計画の実施

- ・ゲストのメニューアンケート結果から食事計画を実施する。
- ・各フロアの特徴を生かした食事計画を継続して実施する。
- ・食事行事を継続する。日常の食事にも取り入れる事で、刺激ある食事サービスの機会を増やす。

<行事食>

①毎月行事・・・誕生日食、料理クラブ、行事食（赤飯）、お好み焼き、炊きたて変わりご飯
バイキング、スナック狸、間食作り、汁物作り、コーヒー喫茶

②日行事・・・間食時選択食

③年間行事

月	年間行事	月	年間行事
4月	花見	12月	クリスマス
5月	母の日		年越しそば
6月	父の日	1月	正月料理
7月	七夕		餅つき
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老の日	3月	雛まつり
11月	秋祭り		

5. 《看護部》

<目標>

『人生最期の時を安らかに迎えられるよう尊厳を守り、本人の生き方を尊重したエンドオブライフケアを実践する。』

①身体機能の衰弱による褥瘡発生を防止する。

②本人や家族の意思を尊重できるよう、気持ちに寄り添ったグリーフケアの充実に取り組む。

<年間業務>

<週間診療表> 大慈弥勒園に記載。

6. 《理学療法科》

<年間計画内容>

自立されているゲストが多い為、日常生活レベルの向上が最優先であり、生活リハビリ等を用いることで、廃用性によるレベル低下の防止を図っていく。また、診療所と連携し、緩和治療の充実に努め、肩こり・腰痛等の軽減に努める。

<実践目標>

①個別機能レベルの維持

A) 廃用性によるレベル低下の防止（疾患等によるもの以外）

- ・日常生活リハビリの充実
- ・生活レベルの向上
- ・現場介助対応の徹底

B) 緩和治療の充実

7. 《委員会活動》

8. 《衛生管理》

9. 《相談苦情の対応》



☆大慈弥勒園と同様

10. 《入浴》

曜日	昼入浴	夜間入浴
月・火・水・金・土・日	15:30～17:00	19:00～21:00
火・金（男性・女性）	10:00～11:45／13:00～15:00	

★くつろいだ雰囲気の中で楽しく入浴できるような支援を行っていく。

- ・月2回、四季折々の変わり湯を提供。（事前にポスター等で掲示する）
- ・仲の良い方との入浴、BGMを流す、壁画を楽しむ等。

11. 《職員会議等》

頻度	会議名		
月1回	正副施設長会議	処遇会議	主任会議
	職員会議	各担当者会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会

12. 《クラブ活動》

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
レクリエーション	毎日(グループ毎)	5～10名	職員	テーブルカラオケ	週2回	20名	職員
シルバー体操	月8回(月・水曜日)2部分け	40名	村越先生 浦波先生	折り紙	月1回	2名	外部
華道	月2回(隔週)	10名	段先生	ニコニコツアー	随時	3名	職員
絵手紙	月1回	20名	シルバーカレッジ	体操 嚙下体操	日3回	全ゲスト	職員
大正琴・編み物	各月1回	6名	職員	麻雀	不定期	10名	職員
ビデオ鑑賞会	第1・3土曜日	30名	職員	料理	月1回	7名	職員

★ゆとりのある多様な活動

- ・行事、倶楽部活動、レクリエーションを実施し、生活が単調にならないよう刺激と生活の潤いを持って頂く。また、四季を感じながらの生活が実現できるよう心がける。

①行事

- ・花見、ひな祭りや端午の節句、柚子や菖蒲湯、夏祭り、クリスマス等の行事で季節を感じられるような行事を提供する。(行事食と職員の出し物をトータルで企画し一日楽しめるようにする。) また、プチ旅行等の外出の機会を年4回以上設ける。

②クラブ活動

- ・ゲストが主体的に参加し、他ゲストとのふれあいや、生活に張り合いが持てるような活動の場にする。

③レクリエーション

- ・写真展、壁画、昭和史等を見ながらの散歩等の運動量をアップさせる。
- ・季節毎の大壁画を作成。
- ・レク係りが中心となって実施。記録と評価を取り、内容を充実させ継続させる。
- ・認知症の悪化防止、改善・維持のため、園芸・学習療法や回想法を積極的に取り入れた援助方法を活用、効果的な介護予防に努める。
- ・認知症の支援に当たっては、その症状の背景や思いを知り、寄り添った支援を目指す。

13. 《年間行事》

月	年間行事名	月	年間行事名
4月	お花見(園内) ボーイスカウト慰問	10月	プチ旅行(美味しいもん食べよう旅行)
5月	母の日お祝い会、プチ旅行	11月	にこにこ保育園交流会招待
6月	ろうごの日、外食ツアー(回転寿司)、父の日お祝い会	12月	つぐみ保育園慰問、クリスマス会、イルミネーション巡り
7月	七夕	1月	正月遊び、書初め、初詣(諏訪神社)、新年会、餅つき
8月	神戸花火大会、夏祭り(地藏盆)、夏祭り(吉祥園)	2月	節分、バレンタインデー(おやつ)
9月	大慈園秋祭り、つぐみ保育園慰問、敬老の日お祝い会(喜寿・米寿)、秋の彼岸法要、にこにこ保育園お月見会	3月	雛祭り、ホワイトデー(おやつ)、春の彼岸法要

毎月の定例行事

誕生者会食（第3木曜日）、お誕生日会（第3月曜日）、スナックたぬき（第1・3木曜日）、お好み焼（第2・4日曜日）、健康チェック（体重・血圧測定）（月末）、コーヒー喫茶（毎木曜日）、ゲスト話し合い（第2火曜日）、買物ツアー・にこにこツアー（毎週月曜日）、おやつ作り・汁作り・（各2回/月）、バイキング（2回/月）、料理クラブ（1回/月）、理髪（第2月曜日）、おやつ選択（毎週日曜日）、おいしいお茶（毎週月曜日）、変わり湯（2回/月）、学習療法（3回/週）、園芸療法（1回/月）、祝い年（願い叶えます）（随時）

14. <<職員構成>>

施設長	生活相談員	支援員	看護師	栄養士	事務員	介護支援専門員
1名	1名	14名	1名	1名	2名	1名